

建築・都市整備・道路委員会  
令和7年9月16日  
都 市 整 備 局

## (仮称) 水際線まちづくりコンセプトプランの基本的方向について

## (仮称) 水際線まちづくりコンセプトプラン（基本的方向）

1. 水際線まちづくりコンセプトプランについて
2. まちづくりの進め方
3. まちづくりのコンセプト
4. 整備の方向性
5. 水際線のまちづくりにより目指す姿
6. 策定スケジュール（案）

# 1. 水際線まちづくりコンセプトプランについて



- 臨港パークから山下公園までの約5kmの水際線について、居心地が良く歩きたくなる歩行者空間の創出や、道路・公園等の公共空間を活用したにぎわいづくりなどを一体的に行い、都心臨海部の魅力を高めるまちづくりを進めます。
- その実現に向けて、2029年度までのまちづくりの進め方や、整備の方向性等をまとめたコンセプトプランを策定していきます。



## 2. まちづくりの進め方

### ①「点」の磨き上げ

まちと海の近さや港の風景、夜景などの多彩な魅力資源をアップグレード



### ②「線」の創出

エリアを結ぶ連続した歩行者空間の創出等により、魅力資源をつなぎ合わせ



### ③「面」の展開

公共空間の積極的な活用等により、水際線とまちのにぎわいを連動させ、都心臨海部全体を活性化



### 3. まちづくりのコンセプト

水際線のまちづくりを進めていく上でのコンセプトを5つにまとめました。

#### 1. いつきても、だれときても

- ・ 家族や友達、パートナーなどと過ごせる、お気に入りの海辺の居場所をつくります。
- ・ 特別感のある海辺の立地を活かした魅力的なコンテンツにより、そこが目的地となる水際線を目指します。



#### 2. わくわくに導かれて

- ・ その先に何が待っているのか期待感が高まり、つい歩みを進めたくなる楽しい水際線をつくります。
- ・ 散歩、ジョギング、モビリティなど、海風を感じながら、移動そのものが楽しくなる仕掛けをつくります。



### 3. まちづくりのコンセプト



#### 3. 一日のはじまりから、おわりまで

- ・ 水際線ならではの体験の充実を図り、朝から水際線の魅力を堪能できる機会を創出していくきます。
- ・ 水際線を彩る光の演出やナイトガーデンなど、コンテンツの充実を図り、夜まで楽しみつくせる水際線をつくります。



#### 4. 今ここでしか味わえない体験を

- ・ 水際線をフィールドに、躍動感・臨場感あふれるイベントやライブ、スポーツなどが繰り広げられている日常をつくります。
- ・ 歩いているだけで、そこにいるだけで、ここでしか見られない景色や瞬間に出会える水際線をつくります。



©Shugo TAKEMI/Japan Triathlon Media

### 3. まちづくりのコンセプト



#### 5. そして、水際線からまちなかへ

- ・連続するGREEN空間やイルミネーション等により、水際線からまちへと人々を誘う仕掛けづくりをしていきます。
- ・まちに訪れた人々が、飲食やショッピング等を楽しみ、横浜のまちを満喫できる機会を創出していきます。



## 4. 整備の方向性 ~5つのエリア~

水際線の5つのエリアの特性を活かしながら魅力を高めるまちづくりを進めていきます。



## 4. 整備の方向性 ~5つのエリア~

### ①臨港パークエリア

水際線随一の広さを誇る開放感あふれる場所であることを生かし、市民が思い思いのスタイルで楽しめる緑地として、居心地の良さを高めていくとともに、観光客や隣接するMICE施設に訪れた人々も惹きつけるエリアへと進化させていきます。

【整備イメージ】



歩行者動線と滞在機能の強化



ビュースポットの整備

## 4. 整備の方向性 ~5つのエリア~

### ②ハンマーヘッド周辺エリア

海に近接して商業施設や客船ターミナル、ホテルなどの施設が立地しており、グランピングやモーニングクルーズ、マルシェなど、水際線ならではの多様な体験ができるエリアへと進化させていきます。

【整備イメージ】



エリアをつなぐ連続性のある歩行者空間の創出



公共空間を活用したにぎわいづくり

## 4. 整備の方向性 ~5つのエリア~

### ③赤レンガエリア

年間を通して常に多くの人々でにぎわう、水際線随一の集客力を誇るスポットに、海をより身近に感じられる新たな空間を創出し、さらに多くの人々が足を運びたくなるエリアへと進化させていきます。

【整備イメージ】



海の眺望を楽しめる空間の創出



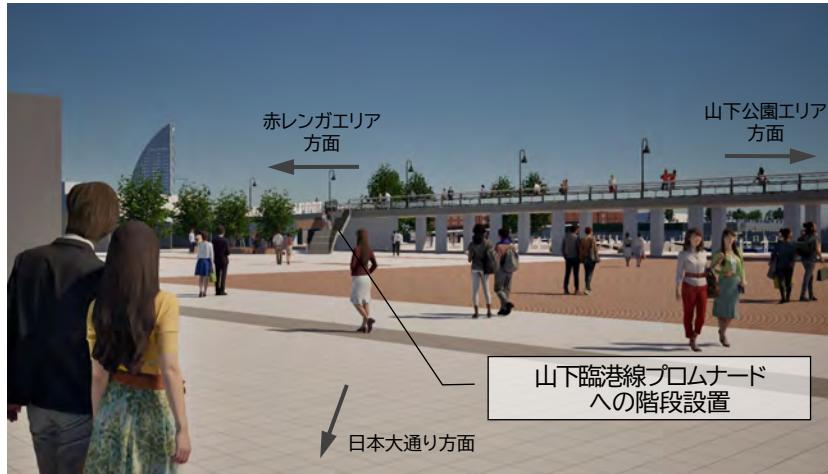
居心地の良い空間の創出

## 4. 整備の方向性 ~5つのエリア~

### ④象の鼻エリア

日本大通り方面から山下臨港線プロムナードへの昇降口となる階段を新たに設置するなど、周辺エリアとのアクセスや回遊性を向上させるとともに、象の鼻テラスのリニューアルなどにより、水際線を行き来する人々をさらに惹きつける場所へと進化させていきます。

#### 【整備イメージ】



水際線とまちのアクセス向上



Photo : Katsuhiro Ichikawa

#### 【象の鼻テラス】

海辺のロケーションを活かした人々が集う交流の拠点として、海風と緑が心地よいカフェや誰もが楽しめる多様なプログラムを開催し、新鮮でクリエイティブな時間と体験を提供する施設へとリニューアルします。

さらなる魅力・集客施設へのリニューアル

## 4. 整備の方向性 ~5つのエリア~

### ⑤ 山下公園エリア

ベイブリッジや氷川丸を望む港の風景や、山下公園通りの歴史的な街並みなど、港町ならではの特性を生かし、海沿いや山下公園通り沿いといった場所に合わせたくつろげる空間を創出することで、訪れる人々が多様な過ごし方ができる場所へと進化させていきます。

#### 【整備イメージ】



港町ならではの過ごし方ができる空間の創出



山下公園と山下公園通りの一体感の創出

## 4. 整備の方向性 ~各エリアをつなぐ照明とサイン~

### 照明の整備

世界の人々を惹きつける夜間景観を形成していくために、「海に映る光」「場所にあった光」「特別な光」により、横浜ならではの夜景をさらに磨き上げていきます。

#### ① 海に映る光

水面に映る光を一体的につなぎ、水際線の輪郭を際立たせます。



#### ② 場所にあった光

エリアの特性に合わせた光の変化をデザインし、移動しながら楽しめる光環境をつくります。



#### ③ 特別な光

水際線全体の一斉ライトアップやカラーチェンジする光の演出により、記憶に残る特別な体験を提供します。



## 4. 整備の方向性～各エリアをつなぐ照明とサイン～



### 案内サインの設置

水際線を楽しみながら移動できるよう、現在地や近隣施設への距離、ビューポイントなどを伝える4種類のデザインからなる「ルートサイン」を設置していきます。



#### ① ロゴマーク

水際線の連続性を生み出すサイン

#### ② ナビゲーション

現在地や近隣施設への距離等を伝えるサイン

#### ③ ビューポイント

写真スポットや視点場を伝えるサイン

#### ④ インフォメーション

エリアの魅力などを伝えるサイン

## 4. 整備の方向性～水際線とまちのつながり～

### 水際線とまちのつながりの強化

主要駅や周辺のまちから水際線へと誘う環境づくりなどにより、水際線とまちのつながりを強化していきます。

#### 【整備イメージ】

(はまテラス：横浜駅東口)



水際線へとつながる日常的なにぎわい空間の創出

(みなとみらい歩道橋：新高島駅周辺)



水際線へと誘う環境づくり

## 5. 水際線のまちづくりにより目指す姿

### ①出かけたくなる



Photo : (一社) 横浜みなとみらい 21

- ・ **水際線の魅力向上を行政が先導的に推進し、出かけたくなる環境づくりを進めていきます。**
- ・ 訪れた人々が**横浜でしかできない体験を楽しみ、誰かに伝えたくなるような水際線**にしていきます。

### ②横浜のファンになる



©CENTRAL MUSIC & ENTERTAINMENT FESTIVAL 2025

- ・ 独自の魅力をさらに磨き、来街者にまた訪れたいと感じてもらえるホスピタリティあふれる水際線にしていきます。
- ・ **横浜に住みたい、横浜で働きたい・学びたい**という人々を増やしていきます。

### ③世界が注目する



Photo : (一社) 横浜みなとみらい 21

- ・ **一目見て「YOKOHAMA」と分かる圧倒的な水際線の景観をブランディングし、発信していきます。**
- ・ **世界を魅了し、市民や企業が誇れる水際線**にしていきます。

『世界に誇れる水際線』を実現していきます

## 6. 策定スケジュール（案）



令和7年9月 コンセプトプラン（基本的方向） 市会報告

12月頃 コンセプトプラン (素案) 市会報告

令和8年1月頃 市民意見募集

3月頃 コンセプトプラン (原案) 市会報告

コンセプトプラン 策定